

当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類 信託期間	追加型投信／内外／株式 無期限（2013年5月13日設定）
運用方針	<ul style="list-style-type: none">・主として世界（日本を含む）の中小型株式市場の値動きに連動する投資対象ファンドを複数組合せることにより、信託財産の中長期的な成長をめざします。・参考指標は、FTSE グローバル スモール・キャップインデックス（円換算ベース）とします。（2018年5月14日現在）・市場の変動により、投資対象ファンドの組入比率が基本投資割合から乖離した場合は、原則として3カ月に1回、基本投資割合へ戻す調整を行います。・基本投資割合の見直しについては、投資対象ファンドの経費率、パフォーマンス、参考指標との連動性、流動性等を考慮して、原則として1年に1回行います。・当ファンドは、ファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行い、実質的な運用は投資信託証券への投資を通じて行います。・当ファンドの運用にあたっては、「モーニングスター・アセット・マネジメント株式会社」の投資助言を受けます。
主要運用対象	主としてETF（上場投資信託）への投資を通じて、世界（日本を含む）の中小型株式へ実質的に投資します。
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時（年1回毎年5月12日。休業日の場合は翌営業日とします。）に、配分方針に基づき分配を行います。分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とし、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わない場合があります。

運用報告書（全体版）

第5期

（決算日 2018年5月14日）

EXE-i グローバル中小型株式 ファンド

追加型投信／内外／株式

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「EXE-i グローバル中小型株式ファンド」は、2018年5月14日に第5期決算を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

URL：<http://www.sbiam.co.jp/>

EXE-i 専用Webサイト

URL：<http://www.sbiam.co.jp/EXE-i/>

EXE-i Facebookページ

URL：<https://www.facebook.com/sbiamexei/>

 SBI Asset Management

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			参考指標		投資信託証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率	期中 騰落率	期中 騰落率		
(設定日) 2013年5月13日	円 10,000	円 —	% —	10,000	% —	% —	百万円 281
1期(2014年5月12日)	11,327	0	13.3	11,511	15.7	95.8	1,062
2期(2015年5月12日)	14,289	0	26.1	14,677	27.5	98.5	2,133
3期(2016年5月12日)	11,954	0	△ 16.3	12,338	△ 15.9	98.6	2,641
4期(2017年5月12日)	14,968	0	25.2	15,372	24.6	99.5	3,830
5期(2018年5月14日)	16,661	0	11.3	17,238	12.1	99.4	5,191

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注2) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しています。

(注3) 参考指標は2015年1月まではMSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス・スモールキャップ(米ドルベース)を、2015年2月からはFTSE グローバル スモール・キャップ インデックス(米ドルベース)を委託会社で円換算しています。

(注4) 参考指標の騰落率は、ETF購入後の2013年5月14日の値から計算しています。

(注5) 参考指標は設定日の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指標		投資信託証券 組入比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率	
(期首) 2017年5月12日	円 14,968	% —	15,372	% —	% 99.5
5月末	14,525	△ 3.0	14,994	△ 2.5	99.0
6月末	14,919	△ 0.3	15,369	0.0	98.8
7月末	15,056	0.6	15,519	1.0	99.5
8月末	14,884	△ 0.6	15,378	0.0	99.6
9月末	15,898	6.2	16,318	6.2	99.2
10月末	16,095	7.5	16,648	8.3	99.4
11月末	16,330	9.1	16,877	9.8	99.6
12月末	16,750	11.9	17,340	12.8	98.6
2018年1月末	16,668	11.4	17,302	12.6	99.5
2月末	15,911	6.3	16,511	7.4	99.2
3月末	15,641	4.5	16,191	5.3	99.5
4月末	16,271	8.7	16,830	9.5	99.2
(期末) 2018年5月14日	16,661	11.3	17,238	12.1	99.4

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 参考指標は2015年1月まではMSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス・スモールキャップ(米ドルベース)を、2015年2月からはFTSE グローバル スモール・キャップ インデックス(米ドルベース)を委託会社で円換算しています。

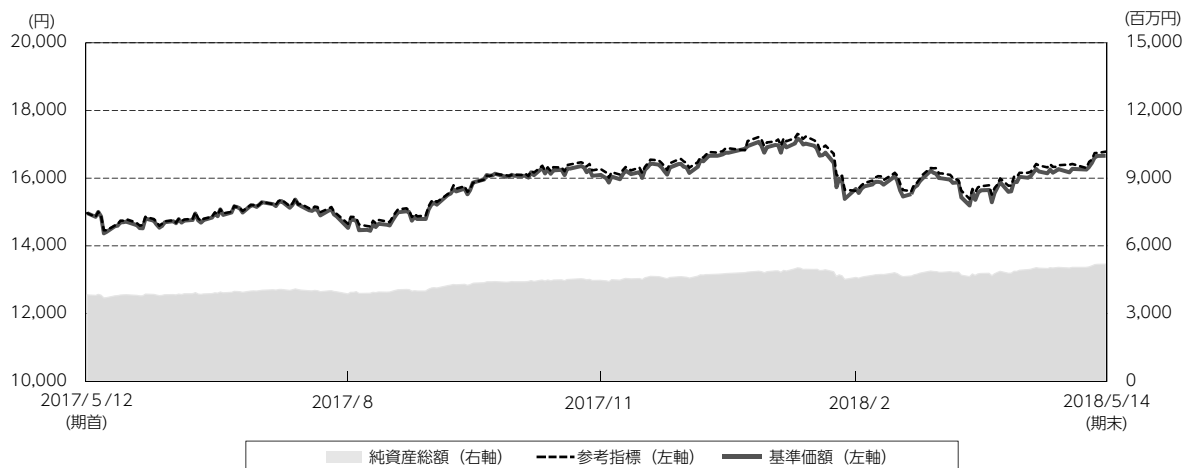
(注3) 参考指標の騰落率は、ETF購入後の2013年5月14日の値から計算しています。

参考指標：「FTSE グローバル スモール・キャップ インデックス」

FTSE グローバル スモール・キャップ インデックスとは、FTSE社が開発した指数で世界の中小型株式市場全体の動きを表す指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はFTSE社に帰属します。また、FTSE社は、同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。当ファンドでは、同指数を委託会社で円換算し参考指標としています。

■当期の運用状況と今後の運用方針（2017年5月13日から2018年5月14日まで）

○基準価額等の推移



期 首：14,968 円

期 末：16,661 円（既払分配金（税込み）：0 円）

騰 落 率： 11.3%

(注1) 参考指標は2015年1月まではMSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス・スモールキャップ（米ドルベース）を、2015年2月からはFTSE グローバル スモール・キャップ インデックス（米ドルベース）を委託会社で円換算しています。詳細はP1をご参照ください。

(注2) 参考指標は、2017年5月12日の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しております。

(注3) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

米国の利上げペースが鈍化するとの見測や、米国の税制改革法案の公表などを受けて金融正常化が緩やかなペースで進むとの思惑が広がったこと、円安などが上昇要因となりました。

下落要因

政治リスクの台頭、長期金利の急上昇、世界的な貿易摩擦懸念、地政学リスクに対する警戒感、円高などが下落要因となりました。

○投資環境

<中小型株式市場>

期首は、米国の歳出法案が議会で暫定合意をされたとの報道や、欧州に保護主義が伝播するとの懸念が後退し、投資家心理が改善する一方、「ロシアゲート」などの混乱から上値が重い展開で始まりました。7月に入ると、米国の利上げペースが鈍化するとの観測や、好決算企業が上昇を牽引しました。一方で、欧州では量的緩和（QE）の減額が意識され長期金利上昇とともに通貨ユーロが上昇し、欧州株式市場は企業の輸出採算悪化の懸念から軟調推移となりました。

10月から年末にかけては、米国の税制改革法案が公表されたことや、良好な企業決算を背景に米国の主要3指数が揃って上昇しました。欧州ではインフレ率の低迷や各国の政治リスクの台頭から様子見ムードが続いていましたが、欧州中央銀行（ECB）による量的緩和延長の決定を受けて通貨ユーロの下落とともに上昇に転じました。年明けは、世界的な景気回復期待を背景に上昇して始まりました。しかし、欧州の金融正常化観測の高まりや、米財務長官のドル安容認発言による円高進行を背景に調整局面を迎えました。

2月に入ると米長期金利の上昇をきっかけにVIX指数が急騰しました。これを受けて世界中の株式市場が暴落し、為替市場でも急速な円高が進行しました。その後も米長期金利は2.9%台で高止まりしましたが、上昇の一服とともにVIX指数が低下し、株式市場に買戻しが広がりました。3月に入るとトランプ米大統領が関税を課す方針を示したことで、貿易摩擦が懸念され再び調整する局面がみられましたが、米国が環太平洋経済連携協定（TPP）への復帰を検討しているという報道や過度な貿易摩擦懸念後退、利上げペース加速懸念の後退を受けて買い安心感が広がりました。また、内需関連銘柄を中心に物色される傾向が高まり、大型株式と比べてアウトパフォームしました。トランプ米大統領がイラン核合意離脱を発表し、原油価格の上昇を通じてエネルギー関連銘柄が相場を押し上げました。

<為替>

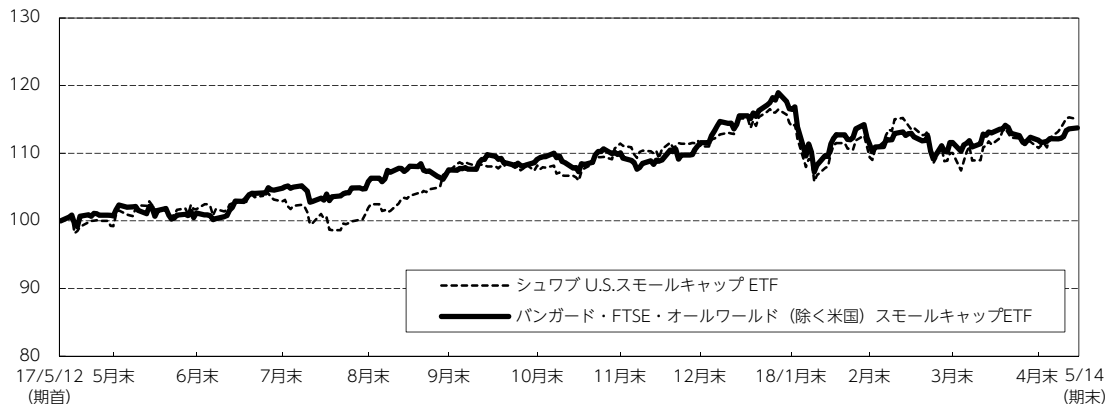
ドル/円は113円台後半からスタートしたあと、ロシアゲート疑惑が浮上し、110円台後半までドル売り円買いが進みました。その後、良好な米経済指標や日米株高を背景に円安・ドル高に転じましたが、日米金融政策の方向性の違いが意識されたことや、ECBが金融正常化観測や資源価格の持ち直し、日米金利差拡大等を材料に114円台までドル高円売りが進みました。イエレン米連邦準備制度理事会（FRB）議長の議会証言を受けて米利上げペースが緩やかになるとの観測が強まり、ドル売り・円買いに転じました。

ドラギECB総裁のタカ派な発言によるユーロ高や、トランプ米大統領の政権運営の不安定間が意識されたこと、米消費者物価指数（CPI）が市場予想を下回ったことを背景とした利上げペースの鈍化が意識され、9月上旬にドル/円は108円台となりました。

その後、米国の年内利上げ観測の高まりやトランプ米政権による税制改革案の公表が追い風となり、ドル/円で113円台までドル買いが進みました。9月米雇用統計で賃金上昇率の加速が確認されたこと、衆議院総選挙における与党優勢報道、米税制改革の進展期待等がドル買いの材料となる一方、北朝鮮を巡る地政学リスクの高まりや、市場予想を下回る結果となった米CPI等が円買い材料となり、一進一退の値動きが続きました。年明けから3月上旬にかけては円高基調となりました。日銀の買いオペ減額の発表、中国当局の米国債購入の縮小・廃止を検討するとの報道、米財務長官によるドル安容認発言、米長期金利の急騰による世界的なリスク回避の動き、米中間の貿易摩擦懸念などが材料視されました。

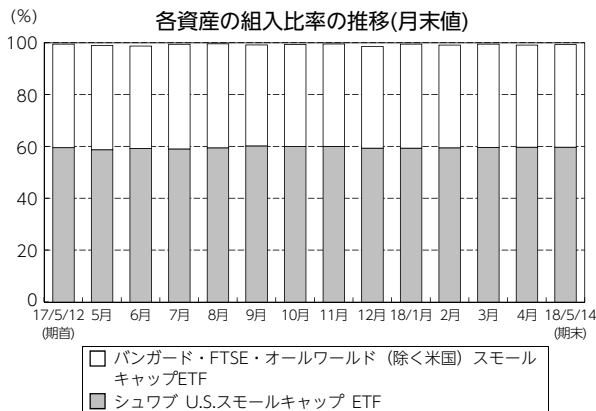
3月下旬から期末にかけては、円安・ドル高基調となりました。良好な米経済指標の発表や貿易摩擦懸念の後退などを背景に徐々にドル売り・円買いが進み、ドル/円は109円台で期末を迎えました。

<組入投資信託証券の推移>



出所：Bloombergのデータを基にSBIアセットマネジメントが作成
 (注) 期首を100として指数化しています。

○当ファンドのポートフォリオ



モーニングスター・アセット・マネジメントの投資助言に基づいた基本投資割合に従い、海外のETF（上場投資信託）への投資を通じて、世界（日本を含む）の中小型株式へ実質的に投資を行いました。投資比率の合計は95%以上の高位を保ちました。

(注) 各資産の詳細につきましては、最終ページの<ご参考>組入投資信託証券の概要をご覧ください。

【組入投資信託証券の資産構成比率】

	組入上位10カ国・地域	構成比率
1	米国	58.99%
2	日本	5.98%
3	カナダ	4.50%
4	英国	4.06%
5	台湾	2.48%
6	韓国	1.81%
7	オーストラリア	1.70%
8	ドイツ	1.51%
9	スウェーデン	1.35%
10	インド	1.22%

	組入上位10業種	構成比率
1	資本財・サービス	15.49%
2	金融	15.14%
3	情報技術	14.65%
4	一般消費財・サービス	13.61%
5	ヘルスケア	11.25%
6	素材	7.05%
7	エネルギー	4.70%
8	生活必需品	3.65%
9	公共事業	2.69%
10	電気通信サービス	0.75%

	組入上位10銘柄	国	構成比率
1	NEKTAR THERAPEUTICS	米国	0.28%
2	GRUBHUB INC	米国	0.18%
3	BLUEBIRD BIO INC	米国	0.18%
4	ZEBRA TECHNOLOGIES CORP-CL A	米国	0.15%
5	NEUROCRINE BIOSCIENCES INC	米国	0.15%
6	BWX TECHNOLOGIES INC	米国	0.14%
7	TELEDYNE TECHNOLOGIES INC	米国	0.14%
8	AVEXIS INC	米国	0.14%
9	GUIDEWIRE SOFTWARE INC	米国	0.14%
10	GODADDY INC	米国	0.14%

出所：Bloombergのデータを基にSBIアセットマネジメント作成

(注1) 2018年4月27日時点の比率です。

(注2) 当ファンドが投資する投資信託証券（ETF）の組入比率に基づき、加重平均して算出した値です。

(注3) 投資信託証券を通じて投資する株式の評価額合計に対する比率です。

【組入投資信託証券の騰落率】

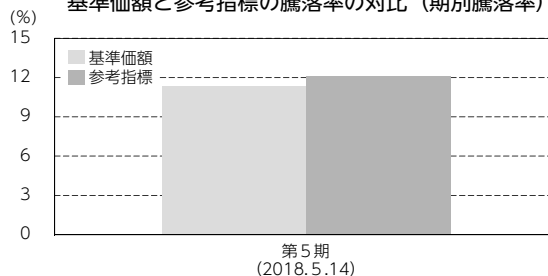
投資信託証券の名称	投資対象	通貨	当期の騰落率
シュワブU.S. スモールキャップETF	米国の中小型株式	米ドル	15.0%
バンガード・FTSE・オールワールド(除く米国) スモールキャップETF	米国を除く世界の中小型株式	米ドル	13.8%

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

右記のグラフは、基準価額と参考指標の騰落率の対比です。

基準価額と参考指標の騰落率の対比（期別騰落率）



(注) 参考指標はFTSE グローバル スモール・キャップインデックス（円換算ベース）を使用しています。詳細はP1をご参照ください。

○分配金

当期は基準価額等を勘案した結果、収益分配は行わないことといたしました。

収益分配に充てなかった利益につきましては、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第5期
	2017年5月13日～ 2018年5月14日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	6,661

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

主としてETF（上場投資信託）への投資を通じて、世界（日本を含む）の中小型株式へ実質的に投資し、世界（日本を含む）の中小型株式市場の値動きと同等の投資成果をめざします。当ファンドの運用にあたっては、モーニングスター・アセット・マネジメントの投資助言を受け、原則として年1回基本投資割合の見直しを行います。

○1万円当たりの費用明細

(2017年5月13日～2018年5月14日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	39 (17) (17) (5)	0.250 (0.109) (0.109) (0.033)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (投 資 信 託 証 券)	2 (2)	0.011 (0.011)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (投 資 信 託 証 券)	0 (0)	0.000 (0.000)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	3 (2) (1) (0)	0.016 (0.012) (0.005) (0.000)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	44	0.277	
期中の平均基準価額は、15,745円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。

(注5) 各比率は1万円当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

(2017年5月13日～2018年5月14日)

投資信託証券

銘 柄			買 付		売 付	
			口 数	金 額	口 数	金 額
外国	アメリカ	VANGUARD FTSE ALL WORLD EX-US SMALL-CAP	口	千ドル	口	千ドル
		SCHWAB US SMALL-CAP ETF	34,017	3,975	4,885	559
			82,881	5,616	8,438	584

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2017年5月13日～2018年5月14日)

該当事項はありません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2018年5月14日現在)

外国投資信託証券

銘柄名	当 期 末			比 率
	口 数	評 価 額		
		外貨建金額	円換算金額	
(アメリカ)	口	千ドル	千円	%
VANGUARD FTSE ALL WORLD EX-US SMALL-CAP	154,933	18,813	2,056,505	39.6
SCHWAB US SMALL-CAP ETF	391,659	28,375	3,101,747	59.8
合 計	546,592	47,189	5,158,252	99.4

(注1) 円換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により円換算したものです。

(注2) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2018年5月14日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円	%
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	5,158,252	99.2
投 資 信 託 財 産 総 額	43,585	0.8
	5,201,837	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末における外貨建て純資産(5,158,369千円)の投資信託財産総額(5,201,837千円)に対する比率は99.2%です。

(注3) 外貨建て資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により円換算したものです。なお、5月14日における円換算レートは、1ドル=109.31円です。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年5月14日現在)

項 目	当 期 末
(A)資 産	5,201,837,855円
コール・ローン等	43,585,448
投資信託受益証券(評価額)	5,158,252,407
(B)負 債	10,645,538
未 払 解 約 金	4,605,727
未 払 信 託 報 酬	5,931,319
未 払 利 息	119
そ の 他 未 払 費 用	108,373
(C)純 資 産 総 額(A - B)	5,191,192,317
元 本	3,115,712,584
次 期 繰 越 損 益 金	2,075,479,733
(D)受 益 権 総 口 数	3,115,712,584口
1万口当たり基準価額(C / D)	16,661円

<注記事項(運用報告書作成時には監査未了)>
(貸借対照表関係)

期首元本額	2,559,386,426円
期中追加設定元本額	1,290,031,559円
期中一部解約元本額	733,705,401円

○損益の状況 (2017年5月13日~2018年5月14日)

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	68,996,091円
受 取 配 当 金	56,487,092
受 取 利 息	21,459
支 払 利 息	12,487,540
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	374,468,556
売 買 益	577,154,770
売 買 損	△ 202,686,214
(C)信 託 報 酬 等	△ 11,800,852
(D)当期損益金(A + B + C)	431,663,795
(E)前期繰越損益金	411,597,976
(F)追加信託差損益金	1,232,217,962
(配 当 等 相 当 額)	(966,910,281)
(売 買 損 益 相 当 額)	(265,307,681)
(G) 計 (D + E + F)	2,075,479,733
(H)収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	2,075,479,733
追 加 信 託 差 損 益 金	1,232,217,962
(配 当 等 相 当 額)	(966,910,281)
(売 買 損 益 相 当 額)	(265,307,681)
分 配 準 備 積 立 金	843,261,771

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(67,159,878円)、費用控除後の有価証券等損益額(364,503,917円)、信託約款に規定する収益調整金(1,232,217,962円)および分配準備積立金(411,597,976円)より分配対象収益は2,075,479,733円(10,000口当たり6,661円)ですが、当期に分配した金額はありません。

〈ご参考〉組入投資信託証券の概要

投資対象ファンド	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
シュワブ U.S. スモールキャップ ETF	米国の中小型株式	ダウ・ジョーンズ米国スモールキャップ トータル ストック マーケット インデックス	0.05%	Charles Schwab Investment Management, Inc.

組入上位10銘柄	比率
Nektar Therapeutics	0.61%
GrubHub, Inc.	0.31%
bluebird bio, Inc.	0.30%
Zebra Technologies Corporation Class A	0.26%
SAGE Therapeutics, Inc.	0.26%
Neurocrine Biosciences, Inc.	0.26%
Teledyne Technologies Incorporated	0.24%
GoDaddy, Inc. Class A	0.23%
First American Financial Corporation	0.23%
Guidewire Software, Inc.	0.23%

組入上位業種	比率
金融	18.3%
情報技術	16.9%
資本財・サービス	14.6%
ヘルスケア	13.8%
一般消費財・サービス	12.9%
不動産	8.1%
素材	5.0%
エネルギー	4.4%
公共事業	2.9%
生活必需品	2.5%

出所：Charles Schwab Investment Management, Inc.の資料を基にSBIアセットマネジメントが作成
(注) 2018年3月31日時点の比率です。

投資対象ファンド	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
バンガード・FTSE・オールワールド (除く米国) スモールキャップETF	米国を除く世界の小型株	FTSEグローバル・スモールキャップ (除く米国) インデックス	0.13%	The Vanguard Group, Inc.

組入上位10銘柄	比率
First Quantum Minerals Ltd.	0.4%
Open Text Corp.	0.3%
Onex Corp.	0.3%
Yageo Corp.	0.3%
CCL Industries Inc.	0.3%
GVC Holdings plc	0.2%
Bombardier Inc.	0.2%
Gildan Activewear Inc.	0.2%
a2 Milk Co. Ltd.	0.2%
Scout24 AG	0.2%

組入上位業種	比率
資本財・サービス	23.8%
金融	20.7%
一般消費財・サービス	11.7%
生活必需品	11.2%
素材	9.4%
テクノロジー	8.6%
ヘルスケア	7.1%
オイル・ガス	4.3%
公共事業	2.3%
電気通信サービス	0.9%

出所：The Vanguard Group, Inc.の資料を基にSBIアセットマネジメントが作成
(注) 2018年4月30日時点の比率です。

上記組入投資信託証券は第5期期末時点のものであり、将来変更される場合があります。